

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステラ新大阪校	
○保護者評価実施期間	2025年1月27日	～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	対象者数 40名	回答者数 38名
○従業者評価実施期間	2025年1月27日	～ 2025年1月27日
○従業者評価有効回答数	対象者数 9名	回答者数 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月3日	

### ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・マンツーマン完全個別療育を行っており、お子様1人1人しっかりと向き合うことが出来る。	・教室の広さや、机、使用教具等、個々のお子さんの興味や特性に合わせて環境調節を行っている。 ・日頃の療育の中で保護者様からのご相談やお子さんの変化についてお話ができる体制が整っている。	・研修内容の充実化や、社内での情報共有や相談できる体制を作りながら、指導力向上を目指す
2	・お子様の発達段階と保護者様のニーズ、本児の抱える困り感を分析した上で、個別支援計画の作成をし療育を行っている	・お子さんの発達を共通認識できるよう、社内の発達段階指標を使用してアセスメント、モニタリングを行っている。	・担当間での共通認識が持てるよう、日々相談、検討し、必要があれば支援計画や指導の方針を見直していく
3	・療育の様子をIpadで見えていただくことができ、療育内容の説明やお子さんの変化についてその場でお話ができる。	・療育内での活動でご家庭でも取り入れられそうな遊び、言葉がけをご提案している。	・ご家庭でのお子さんの様子や、保護者様のニーズを汲みながら、個々にあった関わり方や家庭遊びをご案内できるようお話をしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	・集団場面を見ることが少なく、集団場面やお友達との関わりでの困り感を把握しにくい	・園やその他集団場面での情報が少ない。 ・環境調節された個別場面ではできても、視覚や聴覚の刺激の多い場面では興味がうつつしてしまうお子さんもいる	・保護者様のニーズに応じて関連訪問等を実施し、お子様の集団場面の様子を知り、園と情報共有を引き続き行っていくこと
2			
3			